

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスLiebeニ子山		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 3日 ～ 令和7年 2月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24人	(回答者数) 19人
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 3日 ～ 令和7年 2月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日異なった活動を行い活動プログラムを固定化させない事で、さまざまな体験を提供できている。	「工作」や「LST」、「外出」など9つのジャンル分けされた活動を一ヶ月に盛り込み、その立案をチームで作成している。	活動に取り組んでいる際のお子様の反応を始め、保護者様やお子様からの意見を取り入れながら活動を計画していく。
2	日々の事務作業やお子様の支援記録をHUGシステムを用いたり、職員間の情報伝達で使用するLINEWORKSなどさまざまなツールを活用して、業務効率化に励んでいる。	業務効率化に必要なツールを全職員が有効活用するために、業務情報や作業内容を把握できる基準書を作成している。	システム操作方法や活用方法など、全職員の周知しフルに活用できるように、積極的に使っていき機能の周知を行う。定期的な業務の方法や効率を見直す機会を設ける。
3	視覚的に分かりやすいように、掲示やマークを施設内につけている。	安全にそれぞれの遊びを進める為カラーガムテープやパーテーションを用いて、視覚的にわかりやすく空間を仕切る。声の大きさ表、今は誰が話す時間の紙を貼り声がけに指標を示し分かりやすさに繋げている。	日々の支援を行う中で、曖昧な声がけになってしまう場面やそれぞれのお子様に合わせて適切なツールを検討し支援に取り入れていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園や児童クラブなど、地域のお子様との交流の機会が持てていない事。	本事業所の活動時間と地域の関係機関の活動時間が異なる為、時間の調整に課題がある。	こちら主催で地域の子どもを招待できるイベントを、夏休みなどの長期休暇に設けられるか検討する。
2	父子の会の開催援助を始めとした、保護者間交流の機会が少ない事。	保護者様同士が顔合わせできる機会の不足が見られる。	今年度から家族参観の機会を設け、その中で保護者会を開催した。今後もこの取り組み継続しつつ、父子の会の開催も検討していく。
3	緊急時の引き渡しなど災害マニュアルに基づいた訓練に、保護者様が参加できていない。	保護者様のお仕事の兼ね合いもあり、日程調整に難がある。	予め実施する日を定め保護者様に周知しておくことで、保護者様に日程調整しやすいように配慮する。